

授業科目名・形態	健康教育論 講義	必修・選択の別	必修	単位数	2単位
科目担当者氏名	川村泰子 藤田碧	実務経験の有無	有	開講期	2年前期

【授業の主題】

健康教育は地域で暮らす人々の健康と生活を支援するための方法としての健康教育について基本となる理念・理論と展開方法を学修する。健康教育を展開するための基本的な技術を習得する。

【到達目標】

1. 集団を対象とする健康教育の目的と役割を理解できる
2. 健康教育に用いられる理論を理解できる
3. 健康な人々を対象とした健康教育の展開方法と技術を理解できる
4. 健康教育の目標を達成するための健康教育の媒体を作成できる

【授業計画・内容】

1. 健康教育とヘルスプロモーション
2. 健康教育の理念・変遷・方法
3. 健康教育の基礎理論 (1)
4. 健康教育の基礎理論 (2)
5. 健康教育の方法と特徴
6. 健康教育の方法と実際 (1) (健康教育の企画書・指導案)
7. 健康教育の方法と実際 (2) (健康教育の教材)
8. 健康教育の評価と終了後の支援
- 9.~14 健康教育の実施
15. まとめ

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

教科書や配布資料の読み込み、授業内で提示する資料類の閲覧。第5回目からは身近な健康課題を題材とした健康教育を行うグループワークをします。自分たちの取り組む健康課題について、生理的なメカニズムはもちろん、栄養・運動・休養や社会面まで視野を広げて、積極的に自己学習・相互共有をし、共同作業を進めてください

【主な関連する科目】

「公衆衛生看護学概論」「公衆衛生学」などの公衆衛生看護学関連の科目

【教科書等】

村嶋幸代他：保健学講座 公衆衛生看護学概論，メジカルフレンド社，2022.

村嶋幸代他：保健学講座 公衆衛生看護支援技術、メジカルフレンド社，2022.

【参考文献】

厚生労働統計協会：国民衛生の動向 最新刊. 厚生労働統計協会
随時、資料の配布や参考図書を紹介する

【成績評価方法】

2/3 以上の出席者につき授業の参加状況、リフレクションペーパー、演習、定期試験から総合的に評価する。
授業終了後に提出するリフレクションペーパー (5%)、演習内容・提出課題 (25%)、定期試験 (70%)

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

教員自身の実務経験で得た体験や事例を紹介しながら講義を進めていきます。

【学生へのメッセージ】

健康かな生活は誰しもが願うことです。それを実現するために看護職が果たせる役割があります。授業で学んだことを日ごろの学習や社会活動に活かすことが大切です。ともに学びたいと思います。